

第6期 事業計画

(対象期間 平成26年10月1日～平成27年9月30日)

はじめに

第6期は、里山保全の必要性を啓発するため、第12回こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金成果発表会と合わせC.W.ニコル氏(当財団理事、選考委員長)の講演会を開催する。

また前期に引続き、自然学校や里山自然教室などの各公益事業の着実な実施と円滑な法人事業運営に努める。さらに、「緑の家」を積極的かつ効率的に活用し、公益事業推進に資する。

一方、積年の懸案である朝日城の森の隣接地の取得について検討し、地権者と協議を開始する。

I 公益事業

公1. 「こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金」事業

助成事業は一般助成、特別助成からなる。一般助成は、公募を行い、選考委員会で決定し、基本的に新潟県内での調査研究活動や実践活動を支援する。特別助成は、緊急に助成が必要な事業に対し助成するもので、公募は行わず選考委員会で決定する。

(1) 一般助成(公募を行い、選考委員会で決定)

- ・第14回助成事業応募受付開始をホームページや新聞社をはじめ公的窓口へニュースリリースを行ない告知する。
- ・応募期間は、平成26年11月1日(土)から平成27年1月20日(火)までとする。
- ・助成金の総額は約750万円(1件あたり最高50万円、15件)とする。
- ・助成先の決定は、平成27年3月13日(金)までに行う。
- ・助成金交付式は、平成27年3月28日(土)に行う。

(2) 特別助成(緊急に助成が必要な事業に対し、選考委員会で決定)

今期は、特別助成枠は設けない。

(3) 第12回こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金成果発表会

期 日 平成26年10月19日(日)

会 場 越路町商工会館

内 容

- ・第12回助成事業期間満了を受けて、団体・個人による公開成果発表会及び交流会。
- ・C.W.ニコル氏講演会「森から未来を見る」(定員200名、入場無料)

公2. 越路原丘陵(巴ヶ丘及び朝日城の森周辺地)において、動植物の長期的な生態系モニタリング調査(モニタリングサイト1000)をおこない、自然環境の変化等に関わる情報を社会へ提供するとともに自然保護・保全につなげる事業

- (1) 朝日城の森に隣接する里地里山を対象に、生態系の変化を定量的かつ長期的にモニタ

リングする。そして、異変等の環境変化をいち早く捉え、有効な保全施策に資することを目指す。なお、調査は環境省の委託事業である（公財）日本自然保護協会保全研究部 モニタリングサイト1000里地調査に準拠して継続する。

(2) 鳥類調査及び植物調査の継続実施

植物調査については、新潟県自然観察指導員の会と協力を図りながら調査する。

公3. 渋海川をモデルにした河川環境保全のあり方を考える調査研究事業

調査報告書発行（500部）

公4. 大人から子供までを対象に、豊かな自然体験の機会を提供する水と緑の自然学校を開催し、環境教育の普及振興につなげる事業

水と緑を尊ぶ心を育てるため水と緑の自然学校を子どもから大人までを対象に行う。

- | | |
|-------------------|---------------|
| (1) 酒文化にふれる森林体験 | (平成26年10月11日) |
| (2) スノーシューで冬の里山観察 | (平成27年2月下旬) |
| (3) バードウォッチング | (平成27年4月下旬) |
| (4) ツリークライミング | (平成27年5月中旬) |
| (5) 渋海川で川遊び | (平成27年8月上旬) |

公5. ホームページや情報誌を通して、自然保護・保全に関する情報を伝え、自然保護・保全啓発に資する事業

- (1) 自然保護・保全に関する情報を伝えるために、情報誌を年6回隔月に発行する。発行月は11月、1月、3月、5月、7月、9月とする。
- (2) ホームページの新着情報の更新に努め、常に鮮度を保つ。

公6. 里山保全の必要性と活用法を広く伝えるために、モデルとなる里山を整備し、里山体験の機会を広げる事業

- (1) 朝日城の森及び周辺地の動植物調査と朝日城の森の整備活動を継続する。
 - ・ 歩道や案内板を整備し、森林体験施設・フィールドとしての安全性や利便性を高め、魅力ある場づくりに努める。
 - ・ 動植物の現況調査を継続する。
 - ・ 管理道路並びに城址の草刈や樹木の剪定等を行う。
 - ・ 隣接する山林取得にむけ、地権者と協議を進め、散策路の回遊性や管理上の利便向上につなげる。
- (2) 里山保全活動への理解を広げるために、「春の里山に親しむ会」を開催。

期 日	平成27年4月25日（土）
場 所	朝日城の森
内 容	自然観察などを通して身近な自然に親しみ、里山の自然への理解を深める機会を提供する。
- (3) 里山自然教室開催
 - 里山の自然に対する理解を深めるために、「緑の家」で公開講座を開催する。
 - ・ 雪の不思議（平成27年2月上旬）
 - ・ 里山の動物（平成27年5月中旬）

・里山の水辺の生きものたち（平成 27 年 7 月中旬）

・里山の植物（平成 27 年 9 月上旬）

(4) 身近な里山ガイド

実施日 平成 26 年 10 月～平成 27 年 9 月の間で実施

講師 外部講師に委託

内容 緑の家周辺来訪者の希望者に緑の家周辺～朝日城の森周辺をガイドする。

II その他

1. 個人寄付金について租税特別措置法に基づく国税（所得税）税額控除に係る証明書を発行する

2. 土地取得のための積立

朝日城の森近接地並びに野生動植物の生息環境として重要な里山や水辺などの土地取得のための積み立てを引き続き行う。

3. 基本財産の組替え

資産改良を目的に、朝日酒造の株券購入を検討する。